

# ユニオンファンド 月次レポート

第 144 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2020年11月6日作成

## MONTHLY TOPIC

### 株式投資の本来の姿 ①

株式投資から得たりターン（収益＝儲け）に対し、怪しげ、不健全、汚い、ギャンブルといった否定的なイメージを抱いている人は今でも多いように感じます。しかし、30年ほど前、預貯金の金利が高くて10年も預けておけば大きく増えたころ、何もしないで増えるからといって利息を毛嫌いする人など、ほとんどいなかったように思います。預貯金や債券は善で、株式は悪なのでしょうか。

今月と来月の2回にわたり、株式投資が敬遠されるのはなぜなのか、また、その本来の姿はどういうものなのか、考えてみたいと思います。

#### スタートは発行市場

株式投資が胡散臭く思われがちなのは、それが世の中のためになっていることが伝わっていないためかも知れません。元々は、技術や知識を生かして人々が求めているものを提供しようという人が、お金はあるが使い道がない人からお金を集め、会社を起こすところから始まりました。お金＝資金を提供するので出資と言われます。出資してくれた人には出資額に応じて株式が手渡されました。その後、出資した人が何かの事情でお金を必要としたときに、手持ちの株式を売ってお金に換える場があればありがたい、ということのできたのが株式市場です。

前者を「発行市場」、後者を「流通市場」と呼ぶことがあります。どここの会社の株価が上がったとか、日経平均株価が何円値下がりしたとかいうのは、すべて流通市場での話です。日ごろ私たちが目にするのは圧倒的に流通市場の方なので、株式というものは値段の変動に機敏に対応して売ったり買ったりすることで、値ざやを稼ぐものだと思われてしまうのでしょうか。

#### 適正な価格を見つける流通市場

発行市場と流通市場は車の両輪のようなものです。発行市場がなければ株式はそもそも流通しません。流通市場が無ければ、発行するときに妥当な値段＝発行価格を決めることが困難になります。

その値段を誰かの一存で決めるのではなく、様々な情報を持つ多くの投資家の売買を通じて見出していく場こそ、私たちが普段目にする株式市場なのだとと言えるでしょう。

株式投資の本質は、社会のためになる企業に適切なレートで資金を提供することにあるのです。悪くない話ではないでしょうか。少なくとも毛嫌いするようなものではないはずです。

今回は、株式投資が敬遠されるもう一つの理由である価格変動について、株式投資の本質と絡めて述べてみます。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2020年10月末現在)

## 基準価額

24,083 円

## 純資産総額

76 億 08 百万円

## 期間別騰落率(%)

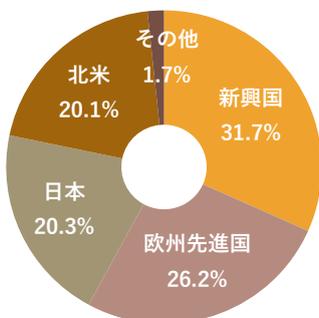
1 ヶ月	-0.92%
1 年	0.21%
3 年	-6.78%
5 年	13.47%
10 年	85.13%
設定来	140.83%

## 複利年率(%)

7.57%

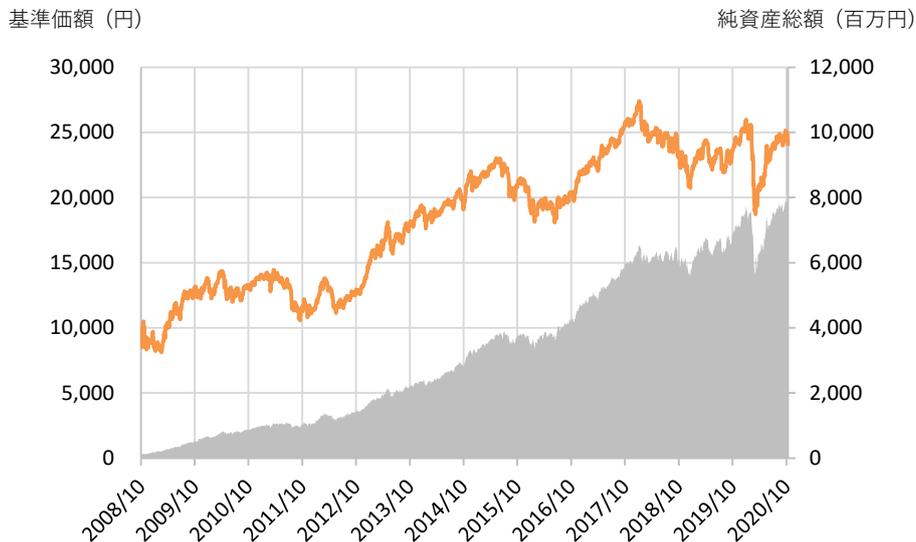
\*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2020年9月末現在)

## 基準価額と純資産総額の推移



## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.6%	-1.0%
スパークス F	日本	11.8%	-0.5%
キャピタル F	欧米	16.4%	-3.2%
ハリス F	欧米	16.8%	-3.5%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	9.5%	-4.8%
コムジェスト・エマージング F	新興国	28.1%	3.3%
現金等	-	11.7%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2020年10月の市場動向と運用状況

## 投資環境

10月の世界の株式市場は、前半こそ景気や企業業績の回復への期待を背景に堅調でしたが、後半は大きく反落し、結局多くの市場が前月末の水準を下回りました。中でも欧州株は、新型コロナウイルスの感染が急拡大し、外出制限や営業規制の動きが広がったことから特に軟調でした。ワクチンや治療薬の開発に関しては、効果の有無や副作用、利用可能となる時期を巡って期待と不安が交錯し、株価の方向を決定づけるほどとはなりません。

市場が期待した米国の追加経済対策については、政策の規模や対象について共和・民主両党の対立が最後まで解消せず、株価の重荷となりました。また、米国では大統領選への関心も高まりましたが、投票日を間近に控えた月末には換金売りの動きが出て、株価下落の一因となりました。

新興国の株価は、中国の景気拡大が続いていることなどから全体として前月を上回りました。

為替市場では、欧州の感染拡大による景気失速懸念からユーロが売られ、ドルが買われました。円はリスク回避の動きから小幅な値上がりとなりました。

## 運用の状況

基準価額は若干の下落で終わりました。新興国株が堅調だったものの、日米欧市場がやや大きめに調整したため、組入ファンドもコムジスト EM F を除いて値下がりしました。

10月当初の計画では買い増しを行う考えでしたが、欧米でコロナ感染が拡大しつつあったため、一旦事態を見守ることとし、売買は行いませんでした。この結果、月末時点の組入比率は前月末を若干下回る 88.3%でした。

## 今後の見通し

注目の米国大統領選は、この原稿を執筆している日本時間11月6日朝の時点でもなお最終結果が確定しておらず、混戦が広がる可能性も指摘されています。11月に入ってから、どちらが勝つにしろ選挙はもう終わりというムードが広がり株価は大きく上昇してきましたが、トランプ大統領側は郵便投票や開票に不正があるとの疑いなどを理由に訴訟を起こしており、今しばらく注意が必要かもしれません。

とはいえ、大統領選びがどれほどこじれたとしても、就任式が行われる来年1月20日には新大統領が決まっているはずで、過去を振り返っても、選挙前に株価は不調となり、選挙後は回復に向かう傾向が見られます。

コロナ感染については、PCR検査数が増えたことが感染数増加の一因と考えられますし、治療法がある程度見えてきたことから死者はそれほど増えない可能性もあります。依然として予断を許さない状況ではありますが、過度に悲観する必要はないと考えています。

加えて、主要中央銀行による金融緩和策は当面維持される見通しであることから、波乱含みの要素を抱えながらも株価は上昇傾向をたどる可能性が高いと考えています。

運用責任者 久保田徹郎

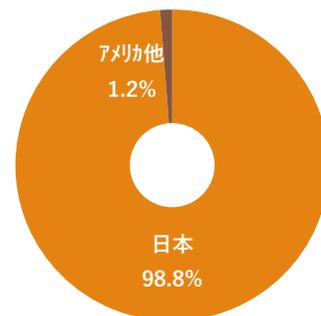
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



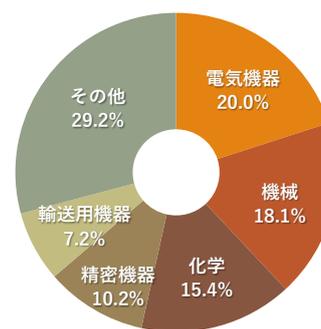
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	7.1%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 ダイキン工業	5.2%	日本	機械	エアコン世界首位
3 信越化学工業	3.9%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
4 浜松ホトニクス	3.9%	日本	電気機器	光検出器の世界的企业
5 テルモ	3.8%	日本	精密機器	医療機器 (カーテル)
6 花王	3.8%	日本	化学	トイレット-首位
7 プリチストン	3.4%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
8 TOTO	3.1%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
9 トヨタ自動車	2.7%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
10 三浦工業	2.4%	日本	機械	産業用小型ボイラー大手
<b>上位10銘柄</b>	<b>39.3%</b>	<b>現金等</b>	<b>7.9%</b>	

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年10月末現在 >

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



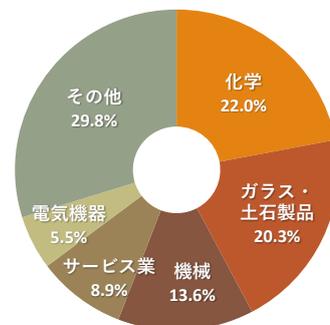
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボイラー大手
ベイクレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
日本エム・ディ・エム		日本	精密機器	人工関節など医療機器・器具
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
エフビコ		日本	化学	食品トレーなど容器の大手
<b>現金等</b>			<b>7.2%</b>	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年9月末現在 >

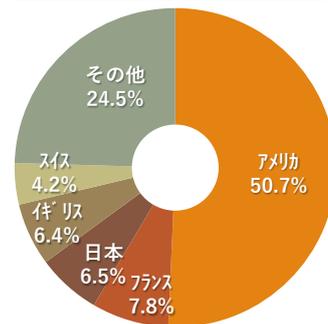
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



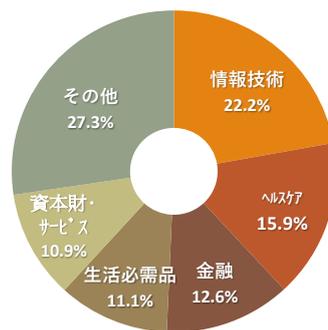
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC	2.6%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 Broadcom	2.1%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3 ASML	2.1%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
4 Apple	1.8%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
5 Visa	1.8%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
6 AIA	1.8%	香港	金融	生保・金融サービス
7 AstraZeneca	1.8%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
8 Novo Nordisk	1.7%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
9 Seattle Genetics	1.7%	アメリカ	ヘルスケア	癌治療薬等の研究開発
10 Microsoft	1.6%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
上位10銘柄	19.1%	現金等	7.1%	

業種別構成比



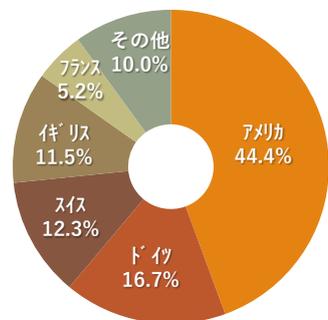
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年9月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



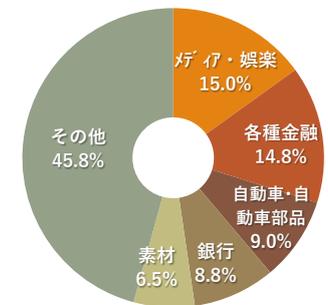
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	5.2%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 BNP PARIBAS	5.0%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 CREDIT SUISSE	4.9%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
4 GLENCORE	4.9%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
5 DAIMLER	4.9%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
6 BERKSHIRE HATHAWAY	4.0%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
7 CNH INDUSTRIAL	3.9%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
8 JULIUS BAER	3.4%	スイス	各種金融	プライベートバンク
9 ALLIANZ	3.3%	ドイツ	保険	総合保険大手
10 BAYER	3.3%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
上位10銘柄	42.8%	現金等	3.8%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年9月末現在>

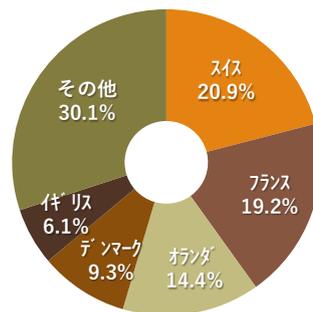
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



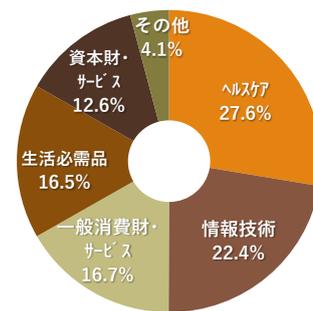
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ROCHE HD	5.7%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
2 ASML HD	5.0%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 NOVO NORDISK	4.6%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
4 HEINEKEN	3.6%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
5 ESSILORLUXOTTICA	3.2%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
6 AMADEUS	3.1%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
7 LVMH	3.0%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
8 LONZA	3.0%	スイス	ヘルスケア	医薬品・バイオ
9 LINDT & SPRUENGLI	2.9%	スイス	生活必需品	チョコレートなどの食品・飲料
10 DASSAULT SYSTEMES	2.8%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフトウェア会社
<b>上位10銘柄</b>	<b>36.7%</b>	<b>現金等</b>	<b>6.4%</b>	

業種別構成比(マザーファンド)



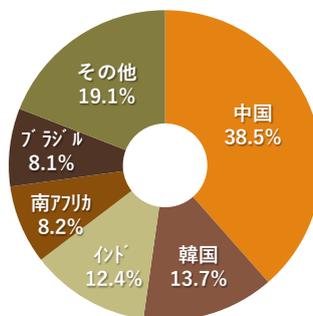
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年10月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALIBABA	6.3%	中国	一般消費財・サービス	電子商取引サイト
2 TSMC	6.0%	台湾	情報技術	半導体メーカー
3 SAMSUNG ELECTRONICS	5.7%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
4 PING AN INSURANCE	5.2%	中国	金融	保険大手
5 NETEASE ADR	4.7%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
6 HOUSING DEVELOP. FINANCE	4.2%	インド	金融	インド最大手の住宅開発金融会社
7 NASPERS	4.2%	南アフリカ	一般消費財・サービス	ゲイア。中国TENCENTの大株主
8 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.7%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
9 SAIC MOTOR	3.7%	中国	一般消費財・サービス	国内大手自動車メーカー
10 INNER MONGOLIA YILI	3.4%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
<b>上位10銘柄</b>	<b>47.0%</b>	<b>現金等</b>	<b>1.8%</b>	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年10月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

### 定期定額購入の引落しができなかった場合について

引落先金融機関の口座が「残高不足」等で引落しができなかった場合、当月の定期定額購入は行いませんが、翌月以降の引落しは通常通りのご指定金額で引落しを行います。**なお、引落しできなかった分を翌月まとめて引落しすることはできません。**

当月引落しできなかった分の購入をご希望される場合は、スポット購入による方法にてご購入ください。なお、定期定額購入と同じタイミングでの購入をご希望される場合は、当月の引落日より 6 営業日後の日にスポット購入代金をお客様専用の「ファンド購入用振込先口座」へお振込みください。引落日等、各月の詳しい情報は弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

弊社ホームページのスポット購入方法ページ <https://unionam.co.jp/fund-purchase/index.html#p02>

※ スポット購入時の振込手数料はお客様のご負担となります。

### 残高情報、評価金額等のご確認について

お客様が保有されている「ユニオンファンド」の残高、評価金額等は、弊社業務管理部へのお電話でのお問い合わせ、またはお取引の都度お送りしております「取引報告書」にてご確認いただけます。

#### 【お電話でご確認いただく場合】

弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までご連絡ください。（営業時間：平日 9：00～17：00）

直近の保有残高口数、投資金額、取得単価、評価金額をご確認いただけます。

※ ご連絡の際に、お客様ご本人様であることの確認をさせていただきます。

#### 【「取引報告書」でご確認いただく場合】

報告書内の「取引後残高」項目をご確認ください。

“約定日現在”における保有残高口数、評価金額等が表示されています。

「取引後残高」・・・ユニオンファンドの保有残高口数（取引後）

「取得単価」・・・お客様の取得単価の平均値（取引前・取引後）

「投資元本」・・・お客様の損益のもととなる金額（投資されている元本金額／取引後）

「評価金額」・・・取引後残高の約定日現在の評価金額

（「評価金額」＝「取引後残高」×「約定日の基準価額\*」÷10,000）

※ 「約定日の基準価額」は報告書内「取引明細」項目にあります「1 万口当たりの単価」です。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

## 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

## 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。  
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。  
[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]  
\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。  
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。